



「もしも」のために備えを

もし、災害が起きた際に大切なのは「自助・共助・公助」の3つの力。自ら備え、地域で助け合い、社会の支援を活かして、誰もが安心できる暮らしを築くために、毎日の中で出来ることから始めていきましょう。

☎防災危機管理課 防災係 ☎37-0104

自助

- 自らの命は自らで守る -

災害時、まず頼れるのは自分自身です。日ごろの備えが、大切な人と自分の命を守ります。

平成23年に防災士の資格をとりました。地区の方からの連絡を受け現場の確認や関係機関への連絡などを行っています。自宅が山のそばなので、日ごろから気象予報には注意し、警報が出たら近所の人たちと声を掛け合って避難を行っています。そのための防災グッズや自動車にガソリンを入れておくなどの備えも心がけています。



防災士 実松 英治さん (春振町)

学生時代から災害に関心があり、先生の誘いもあって防災士の資格を取りました。現在は、防災研修に参加するなど必要な知識を習得し防災意識の向上に努めています。



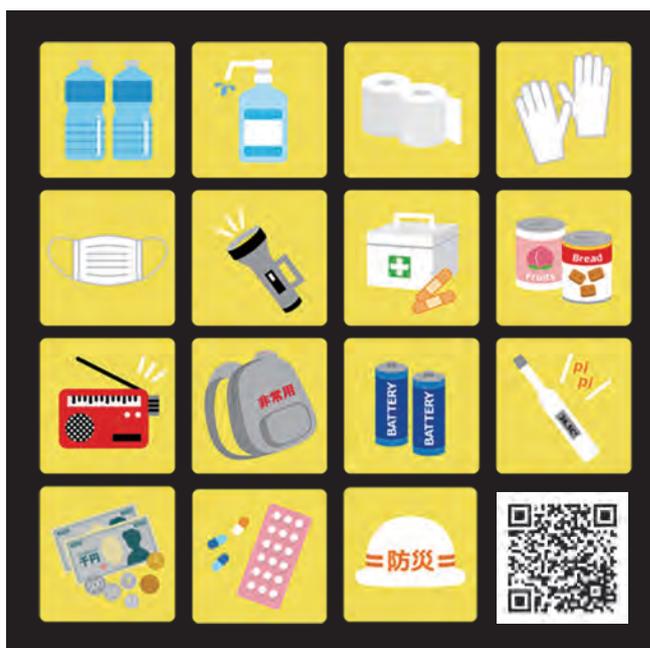
防災士 宮地 真由さん (千代田町)

自宅には自分や家族を守るために乾パンや水などを常備しています。市民の皆さんも、防災対策として非常持ち出し品の定期的な確認など自助力を高めていきましょう。また、地域の防災力向上として地区の公民館に非常用食料の備蓄や、ハザードマップを置くなどの備えも必要だと感じます。

確認してください!

非常持ち出し品

非常持ち出し品とは、災害時に安全に避難するために必要最低限持ち出すものです。非常持ち出し品はリュックや袋に入れ、玄関や寝室の枕元など、避難する際にすぐに取り出すことができる場所に置いておきましょう。



ハザードマップの確認を!



避難場所、避難経路、避難方法などを地図上に示しています。事前に自分が住んでいる場所が、どのような災害が起こる可能性があるかを確認し備えましょう。

神崎市 ハザードマップ



神崎市防災WEB「非常持ち出し品チェックリスト」▲

共助

災害時には一人で出来ることには限界があります。
地域住民が声を掛け合い助け合うことが、安心の輪を広げます。

- 地域で備え助け合う -

また、地区の皆さんの防災意識の向上や住民同士のつながり強化のため、今後、防災出前講座の開催も予定しています。

小淵地区では自主防災組織を設置しています。地区内の避難場所・避難経路の確認や災害時要支援者の対応、危険箇所の確認などを行い、災害時に備えています。



小淵地区
自主防災組織会長
平石 巖さん



▲市防災危機管理課による防災出前講座の様子

自主防災組織とは

地域住民が「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識に基づき自主的に結成する防災組織。地域住民が協力し、防災知識の普及啓発、防災訓練の実施、災害発生時の初期対応などを担います。



◀神崎市防災WEB
「自主防災組織について」

防災意識を高めることはもちろん、地区を災害から守ることにつながると信じています。

行政の支援は暮らしの安心を守る大きな力。
いざという時に備えて、制度や仕組みを知っておきましょう。

公助

- 行政機関が守る -

洪水や土砂災害、河川の氾濫などの際に、5段階の「警戒レベル」を用いた避難情報を発信します。

自然災害の恐れがある場合は、気象庁が発表する情報や市から発令される避難情報を確認し、適切な避難行動をとってください。

警戒レベル	状況	避難の情報
5	災害発生または切迫	緊急安全確保
4	災害の恐れ高い	避難指示
3	災害の恐れあり	高齢者等避難 ※
2	気象状況悪化	大雨・洪水注意報など (気象庁が発表)
1	今後気象状況悪化の恐れ	早期注意情報 (気象庁が発表)

※避難レベル3は、高齢者等以外の人にも必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

避難指示で 必ず避難！



神崎市防災メール

最新の気象情報、避難情報などが即時に送信されます。



神崎市 防災メール登録

神崎市防災WEB

あらゆる防災情報をタイムリーに提供しています。



神崎市 防災

4/10 地区の安心安全のために 神埼建設業協会がカーブミラーの清掃活動

神埼建設業協会（岡村良浩会長）によるカーブミラーの清掃活動が市内で行われ、企業13社から会員35人が参加し、約300カ所を清掃しました。

会員は、安全ベルトとヘルメットを装着し、カーブミラーを一枚ずつ丁寧に磨き上げていました。

この活動は春と秋の交通安全県民運動に合わせて2010年から行われており、支柱などに異常がある場合は市に報告をされています。

同協会会長は「この活動を通して、地区の安全意識が向上し、一件でも交通事故が減るように願う」と話しました。



4/14 交通ルールの遵守と交通マナーの向上へ 「春の交通安全県民運動」街頭キャンペーン

4月6日から15日の春の交通安全県民運動に合わせ、街頭キャンペーンを行いました。

今回は、新1年生の初登校日に合わせ神崎市、神埼警察署、神埼地区交通安全協会など約30人が横断歩道の渡り方の呼びかけなどを行いました。

また、県警のサインカーや交通安全協会などによるのぼり旗でのPR活動も行われ、ドライバーに向けて交通事故抑止の啓発活動も行いました。



4/17 学び、集い、刺激を受けていきいきと！ 令和7年度いきいき大学開校

60歳からの学びの場「いきいき大学」がはんぎーホールで開校しました。開校式に続き、初回の講座は『市政を語る』をテーマに實松市長が講話。

「幸せなごうかんざき」をスローガンに、防災、子育て、健康、地域応援、集う場づくりの5つが紹介されました。

講話を聞いた受講生は、好奇心やチャレンジ精神を刺激され、熱心に耳を傾けていました。

いきいき大学はいつでも入会することができます。



5/3 心やすらぐひとときを 「九年庵」春の一般公開

5月3日から5日にかけて、国の名勝「九年庵」春の一般公開が行われ、県内外から多くの家族連れなど約2,000人が訪れ、庭園の新緑の美しさを楽しみました。

また、公開期間中はお茶会や管弦楽団によるミニコンサートなども行われ、訪れた人は自然とオーケストラの調和を堪能していました。

県外から訪れた女性は「緑がすごく綺麗で心が和みます。春はゆっくり見ることができて良かったです」と心やすらぐひとときを過ごされていました。



5/15

火災が起きたらどうする？ ちよだ保育園 消防士と避難訓練

ちよだ保育園で、佐賀広域消防署の消防士との総合避難訓練が行われました。非常ベルが鳴ると子どもたちはハンカチで口を覆い、保育士の指示に従って園庭に避難。消防署の皆さんに「とても上手でした」とたくさん褒められていました。

また、保育士による消火器の放水訓練も行われ、子どもたちからは「がんばれ～」と声援がおくられていました。

訓練後には、消防車の見学も行われ子どもたちは消防車の装備に興味深そうに見ていました。



5/18

思い思いに筆をはしらせ 次郎の家スケッチ大会

千代田町崎村の下村湖人生家で第22回次郎の家スケッチ大会が開催されました。あいにくの雨で当初の開催日から一日延期となりましたが、大人も子ども問わず多くの人に参加しました。

参加者は、お気に入りの場所から生家の趣ある風景を思い思いに筆を走らせ、生家の魅力を発見し、スケッチを楽しむ機会となりました。

入賞および優秀作品は下村湖人生家に展示し、優秀作品は10月3日に開催予定の「下村湖人生誕祭」で表彰されます。



5/19

神崎市をより良いまちに 第2回神崎市中中学生サミット会議

中央公民館で、第2回神崎市中中学生サミット会議が開催され、「神崎市の魅力」について提言したい部門ごとに8つのグループに分かれて協議しました。

生徒たちは、各々希望した部門の市担当者に質問したり、市政についての話を聞いたりしました。その後「伝えたい神崎市の魅力は何か、どんなキャッチコピーがよいか」など、内容について熟考していました。第3回の会議では、それぞれのグループから提言があります。



5/20

地域協同で美しい景観を 神崎町三谷にポピーなどが咲き誇る

神崎町三谷地区の棚田で、昨年植えられたポピーとネモフィラの花が咲き誇り、赤と青のコントラストの美しい風景が広がっています。

ポピーとネモフィラが織りなす光景は、メディアなどでも取り上げられ、観光客が急増し5月だけでも1,000人以上が訪れました。

また、同地区では4年前の記録的大雨で棚田が崩壊してしまいましたが、福成区長を中心とした地域住民の手によって復旧し、市を一望できる地形を生かした展望所や子どもが遊べる遊具を設置し、美しい景観を取り戻しています。

